



子どもたちの 安全・安心を第一に

芦原保育園・中央保育園の 再構築に関する基本方針

芦原保育園と中央保育園は、建設から40年以上が経過し老朽化が進み、また両園ともに防災上懸念される立地条件にあります。市は、子どもたちの安全・安心を第一に考え、このような現状を早急に解消するため、一昨年から両園の再構築について議論を進めてきました。

「小諸市公立保育園の整備充実に関する検討会」からの報告、また保護者説明会や市民懇談会などで出された意見等を踏まえ、下記のとおり「芦原保育園及び中央保育園の再構築に関する基本方針」を決定しました。

今後は、この基本方針に基づき、統合新設する保育園の整備を進めていきます。平成31年度は、新保育園の建設に向けた基本計画、基本設計等に着手します。

園 子ども育成課 子ども育成係

【基本方針】

1 再構築の方法

現在の「防災上懸念される立地条件が解消」されること、これから園児数の減少が避けられない中において「一定規模の集団での保育環境が確保」されること、2園が1園になることによって「将来的な財政負担が軽減」され、「現在よりも保育環境が向上することが期待」されるなど、様々なメリットが得られることから「芦原保育園と中央保育園の2園を統合し移転して建て替える」こととする。

2 再構築の場所

自然環境に恵まれ、眺望も素晴らしく、園児の送迎にあたってのアクセスも良く、敷地面積も十分に確保することができ、マレットゴルフコース利用者との多世代交流なども期待できる「南城公園50mプールと隣接する冒険の森の一部」を再構築する場所とする。

3 再構築を進めていく上で配慮する事項

- ・施設の計画や設計においては、芦原保育園と中央保育園の園児数や今後の園児の年齢構成等を考慮しながら、園の定員や保育室の数を検討する。また計画や設計には市民や保育士の意見も反映するよう留意する。
- ・子どもの送迎用の駐車スペースは十分な広さを確保する。
- ・保育園を建設する場所については、建設工事を行う際に必要となる地質調査を実施し、安全性を確保した上で建設を進めていく。
- ・アクセス道となる幹線道路の、冬期の除雪対応については道路管理者と協議しながら最大限の安全確保に努める。
- ・新園舎が完成するまでの間、現在の園舎の必要な修繕等については、引き続き実施していく。
- ・新しい園が開園する際に、必要な保育士が配置できるよう、その確保に努める。